

## 第2回上市町総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 議事録

日 時 令和2年7月15日（水）午後1時30分から午後3時まで

場 所 上市町文化研修センター 3階大会議室

出席者 山崎参与、石田委員、奥井委員、小柴委員、坂井委員、島田委員、清水委員、  
瀬川委員、田中委員、野越委員、野澤委員、平井潤委員、平井敏委員、堀田委員、  
松井委員、三輪委員、村井委員、山崎委員、湯上委員、

欠席者 池田参与、安本委員、若林委員

事務局 小竹副町長、藤縄教育長、中村総務課長、碓井企画課長、廣田財務課長、  
永田町民課長、高慶福祉課長、酒井産業課長、竹田建設課長、土開会計管理者、  
小池議会事務局長、神谷上市消防署長、黒田かみいち総合病院事務局長、  
廣田教育委員会事務局長

【庶務】企画課企画班：川口課長代理、成瀬係長、富樫主事

傍聴者 2名（報道関係者）

次 第 1 開会

2 副町長あいさつ

3 審議

(1) 第7次総合計画及び第1期総合戦略の実績報告について

(2) 第8次総合計画及び第2期総合戦略骨子（案）について

4 次回審議会日程

5 閉会

資 料 【当日配付】

・出席者名簿

・座席表

・ご意見等連絡用紙

【事前配付】

資料1 第7次上市町総合計画及び上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略総括に  
係る報告書

資料2 第8次上市町総合計画及び第2期上市町まち・ひと・しごと創生総合戦略  
（骨子）

### 会議経過

#### 1 開会

【事務局】 定刻となりましたので、第2回上市町総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略審議会を始めます。本日は、お忙しい所お集まりいただき誠にありがとうございます。次第に従いまして、会議を進行いたします。初めに副町長よりご挨拶申し上げます。

## 2 副町長挨拶

**【副町長】** 委員の皆様には、お忙しい所、また天候も悪い中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。本日が2回目の審議会ですが、今回は第8次総合計画の柱となる10年後の上市町の将来像を中心に皆様にご議論いただきたいと思っています。この部分が定まってくればそれぞれの施策等も考えていけるということで、言わばこの計画の肝の部分になりますから忌憚の無いご意見を賜りたいと思っております。また、今回は、教育長以下、各課長も出席していますので、事業の進捗状況等で疑義があれば遠慮なくご質問ください。本日はどうぞよろしくお願い致します。

## 3 審議

**【事務局】** それでは、審議に入ります。議事の進行を会長お願いいたします。

**【議長】** 今日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。どうぞよろしくお願い致します。座って進行させていただきます。今回の審議事項は2つ有りますが、1番目の第7次総合計画及び第1期総合戦略の実績報告について、事務局から説明をお願いいたします。

### (1) 第7次総合計画及び第1期総合戦略の実績報告について

**【事務局】** 資料1でご説明いたします。座ってご説明いたします。

- ・第7次上市町総合計画の進捗状況及び総括の報告
- ・第1期上市町まち・ひと・しごと総合戦略の進捗状況及び総括の報告

**【議長】** ありがとうございます。ただ今の説明に関しまして、皆様方から何かご質問ご意見等ございましたらお願い致します。(発言し辛い雰囲気のため)では、まず私から質問させていただきます。14ページの表の公民館施設に関する項目のうち、「町立の公民館で開催している講座に参加した年間延べ人数」が平成31年度の進捗率はB評価で、6か年平均では76.4%となっていて「(基未)」と基準未達成の括弧書きがあるのですが、75%以上達成しているB評価なのに基準未達成なのですか？

**【事務局】** 13ページの表の上に進捗区分A、B、C、Dの区分の説明を付けています。「(基未)」とは、「目標未達成かつ基準値未満」の場合の標記です。平成31年度単独での評価は75%以上でB区分であり、6年進捗率では75%以上の達成率ですけど、基準値を下回っているということで、評価ではC区分に分類されます。ただ、他のページを見ますと本来C区分となるものが「B(基準値未満)」と誤って標記されている指標がありますので、事務局で再度確認いたします。

**【議長】** よろしくお願い致します。

**【議長】** 他にどなたか質問などございませんか。

**【委員】** 質問ではないのですが、3ページの経済力1(農林業の振興)の部分につきまして、農協の立場から現状をご報告いたします。この第7次総合計画では、「野菜の作付面積」が指標となっています。この指標での目標値の設定や野菜銘柄の選択の経緯は私には分かりませんが、里芋の作付面積の目標は14haで平成31年度実績は11.2haとなっており、令和2年度はさら

に 10.31ha と減っています。ねぎの作付面積も平成 31 年度実績で 4.7ha ですが、現在 3.45ha と減っています。しかし、私どもは今こちら（机の上にあるお茶）のハトムギ茶を商品で出していて、この原料であるハトムギの耕作面積では、平成 31 年度が 23.38ha でしたが、今年度は 27.36ha となっています。ちなみに、平成 30 年度は 15ha で、耕作面積を年々増やしてきているところです。このハトムギを氷見市に持って行って製品として出しているところであり、このハトムギにも注力して頑張っていきたいと思っています。

**【議長】** ありがとうございます。他にご意見等ありますか。何も無いようでしたら時間の関係もごさいますので、次の審議事項に移ります。審議事項(2)第 8 次総合計画及び第 2 期まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子について、事務局から説明をお願いいたします。

## (2) 第 8 次総合計画及び第 2 期総合戦略骨子（案）について

**【事務局】** 資料 2 で骨子についてご説明します。

- ・第 1 回審議会での意見を踏まえた変更点
- ・まちの将来像の 4 案とそれぞれの趣旨
- ・施策の大綱（政策分野、施策）

### 《委員審議（まちの将来像について）》

**【議長】** ありがとうございます。今の説明に関して、委員の方々のご意見をお聞きしたいと思います。（新型コロナウイルス感染対策等に関する）追加事項や（基本理念の）修正点の説明もありましたが、重要事項の審議として 16 ページと 17 ページに示された「まちの将来像」の 4 つの案について、ご意見をお願いいたします。

**【委員】** 事前配付された資料について、協議会の中で話し合っただけの意見をお話しいたします。「まちの将来像」について、案 4 は、キャッチフレーズはいいのですが、この趣旨説明にある現状維持のような表現は、少し後ろめたい表現に感じられるので、案 2 と案 3 にある「チャレンジ」とか「変化と継承」というような言葉を使った方がいいという意見がありました。次に 23 ページ（「4 施策の大綱」）の社会福祉に関する意見では、最近、8050（ハチマルゴーマル）、80 歳の親に 50 歳の子供というような家族がよく見られるようになっていますが、そういった人たちは 1 つの分野からでは支援が困難であるため、いろんな分野の人と包括的に支援していかなければならないと考えます。ですから、このような複数の分野にまたがる支援を地域福祉の中に入れるのか、包括的な政策・施策を設けるのかの検討が必要であると考えます。それと、最近空き家が非常に多くなってきているということで、この空き家を町の活性化に上手に活用する施策がどこかの分野に入ればいいと思います。また、最近、外国人も町内に非常に増えてきていて、現在も町の人口が 2 万人を維持できているのは外国人の住民が大勢いるからだと思います。こういった町に住む外国人の支援策もどこかに入って来たらいいという意見がありました。以上です。

**【議長】** ありがとうございます。計画全体についての意見は後でお伺いすることにして、最初は 16、17 ページの「まちの将来像」の 4 つの案に関するご感想だけお聞かせいただきたいと思っています。



らない感じですが。とりあえず私が言えるのは、上市町の総合計画というものは10年先を目途にあるべきものではないかということです。

**【議長】** ありがとうございます。未来を考えるのは難しいですが、この総合計画については10年間を想定しているものです。この将来像と未来をどうやって結び付けていけばいいのかを考えることが大切なのかなという気がします。

**【委員】** 案の4つの中でベースになるのは案1になるのかなと思いますが、高校生を預かる者としては、案4の考え方があればいいなと思います。要するに、将来、上市町を背負って立ちたいと思っている子供たちや、趣旨説明にもあるように地域資源を育てて文化資源というものを町興しの1つの材料として町外へどんどん発信していこうという若者が出てきたり、何か町のためにやっていきたいということがあって若い人たちが町に残ったりするようになればいいなと思います。昨年度、上市高校の卒業生が富山県に残った比率が約88%くらいですが、我々教師の思いとすれば、その県内に残った88%の者の多くが上市町に残って欲しいと思います。本校生徒は、町内の企業や役場の方にご支援いただいて、いろんな行事に参加させていただきながら、上市町のいろんなことを勉強しています。そういう中で「将来こんなことをやりたい」、「こんなことにチャレンジしていきたい」というものが上市町にあることが、若い人たちにとってはいいのかなということで、この案4がいいと思いました。ただ、先ほど案4は現状維持の考えだという話がありましたので趣旨説明の表現は考えないといけませんが、「やりたいことがある」という言葉は心に響くものがありました。以上です。

**【議長】** ありがとうございます。やりたいことがあるという点で案の4がいいということでした。他に何か私はこう思いますという意見はありますか。

**【委員】** 前回は出席できず失礼いたしました。前回の資料についてはすでに議論されていると思いますが、今回、将来像の4案が示され、いずれも非常に良くまとまっている言葉だなと思って見させていただいているのですが、この将来像を考えるにあたっては、やはりその前のところで示された基本理念があって、それが積み重なっていったところで将来像が出てくるといった関係も十分に考えていかなければならないと思います。それで前回資料のアンケート調査の中で、回答者の7割が50代以上ということもありますが、医療福祉への関心が高く、逆に小中学校の教育や産業、観光の重要度が低いという結果が出ていました。また、おもしろいなと思って見させていただいたのが、「上市町への愛着」という質問項目では、10代で8割、20代では6割を超える方々が上市町に愛着があると回答していました。その一方で10代、20代の方々、これは私が若い頃もそうでしたが、「いずれは町外に移りたい」という比率が10代で50%、20代で4割の方がいたのですが、これが30代を超えると、「できるなら上市町に住み続けたい」という気持ちの方が6割前後とずっと増えていく結果が示されていました。このアンケートの結果を見ますと高齢者の方々を中心として上市町に暮らす方々が安心安全に生活できるという政策を着実に進めていくということと、もう1つは、町の将来を担う子供たち、若者、あるいは町外から来るビジネスマンや観光客の方々をグッと引き付けるような町の産業政策や、上市町への人や物とかを呼び起こすような、言わば「攻めの施策」といったものを盛り込んだ計画を作っていく必要があるのではないかと、まちの将来像を描いていく必要があるのではないかと感じました。そういったことを踏まえたうえで4つの案を見ると、委員の皆さんはそれぞれ意見をお持ちのようですが、案3が基本理念との関連がよく表現されているのかなと

思っていました。具体的に言いますと、案3の「変化と承継にチャレンジし」というところが基本理念の「① 自然と共生した持続可能な社会づくり」あるいは「② 気風ある町民文化の向上」というところですね。「変化」というのが様々な社会情勢の変化で都市機能などが柔軟に変化に対応していくチャレンジが必要だと。その一方で町にはどんなに社会や時代が変わっても守っていかなければならない自然や文化などがあると思います。そういったことを守ることも、これは1つのチャレンジなのではないかと。そういったことを非常に凝縮して表現されているのが「変化と承継にチャレンジし」という案かなと思って見させていただきました。ただ、1つ勝手なことを申しますと、基本理念の「③ 強い絆による協働の推進」という観点がこの案3には欠けているかなと思ひまして、非常に勝手なことを申しますけども、例えば「選ばれるまち」の前に案1の「みんなが主役の」という表現を重ねて「変化と承継にチャレンジし みんなが主役の選ばれるまち 上市」とすれば、非常に基本理念との連携が上手くまとまると勝手に思っていたところです。あと、もう1点だけ、細かいところですけども「ミライのため」という表現がありますが、案4では「ミライに向け」となっています。「ミライのため」とすると重点が未来の方々に向けているような印象を受けますが、それを「ミライに向け」とすると、今、生きてここで活躍している町民の方々も含めて取り組んでいくというようなイメージが出るのかなと思ひました。少々長くなりましたが、以上です。

**【議長】** どうもありがとうございました。どの案も甲乙つけがたいといった感じで、いろんな意見が出ていいと思います。

**【委員】** 私は、案1の「つながる にぎわう ささえあう」のキーワードが非常にいいかなと思ひました。人と人が「つながる」、時間の過去、現在、未来が「つながる」、人、観光、産業が「にぎわう」、社会、教育、福祉、医療で「ささえあう」。キーワードとしては非常に魅力があるかなと思ひました。先ほどから、皆さんの意見を聞いていて、少しずつ案3や案4をまぜて作れたらもっと良くなるのかなと思ひます。(全体的に骨子を見ると)前回の審議会で意見が出された今後の工夫や新しい生活様式などもしっかり骨子に盛り込まれていましたので、非常に良くなったと思ひて資料を拝見していました。あと、広報の工夫という点では、例えばケーブルテレビの契約数が約50%なので、チャンネルかみいちで町内に情報が行きわたるのはなかなか難しいと思ひれます。これから益々情報力が重要となる中で、情報弱者の方にはしっかりと情報を提供する方法など、更なる工夫が必要であると思ひます。私は、今47歳で、10年後57歳、さらに10年後67歳、次は77歳、本当に未来が続いていくので、しっかり自分事としてとらえていきたいと思ひています。我々の子育て世代が町に対して期待するのは、安心安全、清潔、医療費・学費・生活費のローコスト化、治安の良さ、教育水準の高さ、特別支援等の多様な学びの選択肢で、そういったものに対するニーズが非常に高いです。子供たちの上市町に対する「ふるさと愛」の醸成については、学校でふるさと教育をしっかりやっている印象を持っています。我々も家庭や地域でお祭りや地域行事等をしっかり継承していき、また、子供たちも巻き込んで一緒に取り組んでいくことが大切であり、それは社会教育が果たす役割であると考えます。また、家庭でも仏壇にちょっと手を合わせるとか、神棚は少し違うかもしれませんが、先祖を敬う、三世代同居が非常時多い地域もありますが高齢者の方を敬う心を育てていくことが大事だと思ひています。そういったふるさと、家族、先祖への愛がまた地域の活性化、再生にもつながるものと思ひますし、声を掛け合うチームケーションが子供たちにもしっかり育まれていって「みんなが主役のまちづくり」にもつながると思ひます。いろいろと

教えていただきながら我々親も頑張っ参りたいと思っています。私としては以上です。ありがとうございました。

**【議長】** どうもありがとうございました。時間の関係もございませし、もしよろしければもう一方ご意見があれば聞きたいと思うのでお願いします。

**【委員】** 私どもの業種柄、商工業中心の考え方になってしまうのですが、上市町中の事業所は、現在約 800 あると聞いていますけども、この 10 年間で 200 の事業所が減っていて、その前の 10 年間でも 200 減っています。10 年間で 200 ずつ事業所が減っているという状況だということ。最近、創業もそれほどないということで、今まで通りのことをやっても町内だけの努力で事業所を増やしていくのは困難だと思います。事業所があるということは、雇用の創生や人が集まるということで一番大事だと思いますので、事業所数は増やしていかなければならないと考えています。その考えで選ぶと案 2 の趣旨説明にあるように「時代の変化に対応していないものはどんどん迅速に変化させる」といったことを是非やっていくべきだと考えます。今後、近隣の市町村や各方面の専門の方など、いろんな方々の知恵を借りなければできないことが多いと思いますが、観光資源や人と人とのつながりなど上市町の良い所を繋げながら変化させていければいいと思います。そういったことで、私の個人的な考えですけども案 2 の「変えるべきところは変え 守るべきものは守る」というフレーズで未来に向けて発信し、町民意識を高めていければいいのではないかと思います。以上です。

**【議長】** どうもありがとうございました。時間の関係もあつて大変申し訳ないのですが、どうも今までの方々のお話をお聞きしておりますと、この場でいずれかの案に決めるのは大変難しいと思われませ。大変申し訳ござませんが、この件につきましては会長一任ということで私の方で預からせていただきたいと思ひます。委員の皆様どうぞよろしくお願ひいたします。(全委員から異議が出ない。) 今回の意見を踏まえて将来像を決め、そして、その将来像にあるキーワードを使って事務局と工夫しながら基本目標を決定し、次回の審議会でお示ししたいと思ひます。事務局も大変でしょうけど、作業をよろしくお願ひします。

#### 《委員審議（施策の大綱について）》

**【議長】** 次に、施策の大綱として 22 ページから 27 ページにお示しした政策につきまして、委員それぞれのお立場も踏まえてご意見をいただきたいと思ひます。残りの会議時間もあまり有りませので、ご意見があれば手短にお願ひします。質問でも構ひません。

**【委員】** 基本構想について簡潔に意見を言わせていただきます。(他の民生委員に意見を聴いたところ、) 都市的な機能と自然の両方を有する町であることを誇りに思ひ、もっと「いきたい PR」を行うべきではないだろうかという意見が有りませ。それと、町民が営む商店が活力ある商売ができるような町になればいいという意見や、町民がお互い支えあつていくことが大事だという意見を頂ひませ。施策の大綱については、子育て支援の大綱を網羅する 1 つとして、三世代家庭の推進による子育て支援、居場所づくり、それから子育て環境の充実として仕事と子育ての両立支援などが出来ないだろうかという意見が有りませ。そういった支援によって、人間が生きていくために必要な心身の充実と余裕が生まれ、たくましく生きる環境ができるのではないかと意見を頂ひませ。以上です。

**【議長】** ありがとうございます。

**【委員】** 私も老年人口の一人ですが、町の高齢者福祉に関する取組みは大変充実しているといつも感謝しています。私のところの講座にもたくさんの方が入っていますし、各地域の公民館活動も大変盛んだと思います。自分の老後のことは、やはり心配になります。今、たいへん生涯学習は盛んなのですが、この後もっと年を取った時に自立した生活ができるのかなという心配は持っています。そのことが、この施策の大綱だとどこに入るのかなと思って見ていましたが、1つは「地域医療の推進」ということが大事なことで、先日から色々と（報道で）出ていましたが、やはり病院というものが大変身近な存在で私たちにとっては大変大切なものだと思っています。それともう1つは、移住や定住で、これにはどうしても若い世代の人たちにとって魅力ある町であるということが大事だと思っています。上市町としての土地の魅力といえますか土地に根差した魅力というものが発信できればいいのかなと思っています。それが他の地域も無いような、学校教育であれば教育の中にもっと他の町には無い上市町としての教育の魅力みたいなものももっとないかなと。例えば、「3-1 学校教育の充実」の3番目「地域と共に取り組む学校づくり」のところに、地域ともっと密接な学校、地域の方が入ってくる、地域の方の支援をいただくというような、そういう教育があればいいのかなと思っています。以上です。

**【議長】** どうもありがとうございました。

**【委員】** 私たち商工会女性部では、地域振興事業活動にすごく力を注いでいて、平成のときには、町特産の生姜や藻屑ガニなどで上市町のPRにも力を注いできました。令和に入ってから、昔話を題材として動画を作成しました。上市町の観光名所や地域資源、遺跡、神社、仏閣等を昔話と取り合わせ、歴史的由来などを情報発信して町外の人たちに少しでも上市町に興味を持っていただきたいということで頑張っています。商工業の振興については、町が潤って、少しでも多くのお金を町内で回すということが大事なことだと思っています。今、人口減少と高齢化が進み、町の中には空き家も多く目立ってきていて心配しています。町では、経済力、人間力、安心力の分野に関してすごく頑張ってくださいっていて、高齢者にとってはすばらしい町だと思います。それから赤ちゃんから中学生まですごく行き届いていると思っています。一番心配なのは、高校生から結婚されるまでの若者たちにどうにかしてこの町に住み続けてもらうことです。それにはスマートインターチェンジの周辺に若い人たちが賑わうレジャー施設などを作ることです。逆に商店街みたいなものがスマートインターチェンジ周辺にできると町の中が衰えますので、若い人たちが少しでもリラックスできる場所、遊べる場所がいいと思います。商工会女性部の皆さんからは、お風呂が併設されたスポーツジムが欲しいという強い要望がありました。これからは町に若い人たちが定住してくれる事業や、大学で町外に行っても町に帰ってきてもらうための企業誘致などに力を入れて欲しいと思います。以上です。

**【議長】** どうもありがとうございました。

**【委員】** 24ページにあります学校教育の充実の「教育環境の充実」ですが、私の住んでいる白萩西部地区の小学校では、現在、児童が41名と子供が少なくて1クラス6名から7名です。子供たちは仲良くしていますが、私たちが小さい頃は、1クラスに35人から40人いた時代で、お互いに努力する関係がありました。私の町内も1年生と6年生ばかりで、朝、見守り隊で見送っていますが、人数が少ない今の子供たちは可哀想に感じます。この状況から考えると、地

域と共に学校づくりに取り組むことは避けて通れないことだと最近つくづく感じています。また、15年ほど前ですと、上市町の花の「りんどう」や「サツキ」が咲いているのを目にしましたが、そういったものが町の景色からすでに消えていっている気がします。先日行った立山農園の社長にその話をしたら、「そうだったね」と言われて、社長は最近、農園にりんどうの苗を仕入れて近々販売することになりました。上市町の花をもう一度見直して、過去に振り返りながら取り組んでいくことも大事じゃないかなと思います。それともう一点、農業や林業の関係ですが、最近、お金はからないから農地を全部もらって欲しいという方が私のところに何軒か相談に来ています。子供もいないので、家や作業所、農地があるけど管理できなくて部落で引き取って欲しいというお願いでした。私は森林組合の役員をしています。組合は、立山、上市、大山、大沢野の4地域の合併から20年経過し、現在3,300ほどの組合員がいますが、若い人が農業にも林業にも関心を持たないという時代になっています。先月も大沢野の組合員から三町部ほど持っている山を森林組合にもらって欲しいと言われました。組合としても管理していかなければならないのでただで貰うわけにはいきませんし、現場を見たらかなりの木が植えてあって大きな山でした。もう山はいらないし、お父さんお母さんが若い時に森林組合で仕事をしていたので組合にお渡ししたいという方が上市町にもいますし、他の市町村でもいます。森林組合として山をどう管理していけばいいのか、この先どうやって森林、資源を残していくか、山をいかに守っていくかということがこれからの大きな課題だと思っています。以上です。

**【議長】** どうもありがとうございました。

**【委員】** 基本構想や施策の大綱に関しては、上市町のことを本当に一生懸命考えていただいている構想だと思うので、特に反対意見等はございません。ただ、一番知りたいのは、これから多分話が出てくるのだらうと思いますけど、戦略の話です。いつ、誰が、どのようにいつまで何をするのかという具体的な戦略が見えないので意見を求められてもちょっと答えられないです。あと、数字の目標が分からないので何がどのように変わるのかということが見えなくて、こんな計画を立てたけど本当に大丈夫なのかという評価が正直言って、し辛いです。10年後の未来というものを考えたときに、上市町は人口が減ってしまうと住みやすい町になるのかどうかという、病院が無くなるんじゃないか、スーパーが無くなるんじゃないかとなってしまふ。今の時代というのは高齢者が増えている状況の中で高齢者になると免許書を返さなければいけない時代、そう考えると今人口が増えなければどうなるのかという課題について、集中して施策を進めなければならないと思います。私の事務所が仕事で関係しているハウスメーカーから提供していただいた中新川郡と滑川市のここ数年の住宅の着工棟数のデータでお話すると、平成30年と令和元年の木造の建築確認申請、家を建てるときに市に提出する確認申請の受付ベースですが、滑川市は平成30年が188棟、令和元年が262棟の450棟が2年間で建っています。それに対して上市町は平成30年が39棟、令和元年が44棟の83棟、滑川市と上市町では5.4倍違います。立山町は平成30年が61棟、令和元年が85棟の146棟、立山町と上市町でも倍違います。隣の町と倍近くの差が出ているのは何が原因なのか、これは分譲数の違いなんです。企業誘致もそうですけど、官からどんどん働きかけなければ魅力を感じないところに民は分譲しません。立山町は民の分譲に対してある程度の補助金を出していると聞いています。町に住んでいる人に住み続けてもらうために、家を建てた人の満足度を上げるのも分かりますが、住宅ローンを組んでしまったら引っ越しできませんから。そして、その町には35年間固定資産税が落ちますし、町民税も落ちます。また、住宅ローンを組むとお金を返して

いくために夫婦で働くので、若い人は親元の近くで家を建てようとする人が多いです。夫婦で働きながらの子育ても考えるので、その支援を考えなければ新しい人は入って来ないということも考える必要があると思います。数字は謙虚に出ています。令和2年度の数字をお話すると、5月6月で滑川市は37棟申請が出ていますが上市町は6棟で、すでに30件ほどの差が出ています。立山町は上市町と同じくらいです。舟橋村は人口が少ないですけど、上市町と同水準です。これはオレンジタウンの分譲でもう38棟申請していて、あっという間に売れたんです。(こんな状況をデータ等で把握しながら)新しい人を外から呼び込むための施策をもっともっと考えてやっていかなければいけないと思います。7次の(後期)計画を策定してからこれで4、5年経ちました。7次計画からずっと会議に出させていただいていますが、何も変わっていないんじゃないかって感じがします。確かに住んでいる人の満足度を上げなければいけないことはわかります。やらなきゃいけないと思います。だけど、新しい人たちをどうやって呼び込むかってことを今やらなければ、10年後の上市町は本当に大丈夫なのかと心配です。病院が無くなったり、スーパーが無くなったりする。そうすると住んでいる人の満足度も学校も無くなる結果に結びつくんじゃないですかね。ということは、どうやって人を増やすかってところに焦点を置かなければいけない。本当はもう待った無しの状況じゃないかと思います。7次の計画が始まった時も富山県自体の人口は増えないので富山市の人口をどうやって上市町に持ってくるか、町からどうやって出ていく人を防ぐかというところが論点だったかと思います。では、そこに対してこの4、5年間何が変わったのかと考えると、何もあまり変わってないかなという気がします。本当にこういった審議会のような会議が重要なのであれば、本当はその論点(新しい人をどうやって町に呼び込むか)を議論するような場にしなければいけないと思うので、もう一度会議のあり方(議論する焦点や施策の推進方法等)を考えていただきたいと思います。それに対して民と官が力を合わせて本当に上市町はいいところだってところに持っていければと思います。上市町は本当にいい町だし、僕も大好きな町ですから、僕もできることには力を惜しみなく出したいと思っています。以上です。

**【議長】** どうもありがとうございました。

**【委員】** 私も施策に関して個人的に特に意見は無いのですが、前に青年部で話し合いを持ったときに少し意見が出たこととお話いたします。子育て支援ということに関しては、子どもがおもいっきり遊べる場所が少ないのかなという意見が出ました。施策の大綱の1-4に有ります「子どもの居場所づくりの充実」で、こどもが遊べるような遊具を置いてもらうとか、こどもがおもいっきり遊べるような場所を作ってもらいたいと思いました。あと、町にスマートインターチェンジができるということで、それに対する意見が有ったのですが、現状のままだと上市町民がインターを利用して外に出ていく利用数が多くなるだけではないか。そうならないように町外からスマートインターチェンジを利用して上市町に降りてもらうため、そして人を増やすため、人を呼ぶための上市町の魅力のPR、発信の仕方を考えていくことが重要だという意見が出ていました。私からは以上です。

**【議長】** ありがとうございました。

**【委員】** 私の村の現状をお話すると、村には子供がいなくて年寄りばかりで平均年齢は60歳くらいだと思います(令和2年3月31日現在:65.2歳)。若い人はいるのだけれど結婚はしないので、子どももいない。このままだと、現在30件くらいありますが10年後には半分に

なってしまうでしょう。それと、ほとんどの家が空き家です。現在も家は有るけど、入院していて人が生活していないという家がたくさんあります。33件ある家の10件はそういう状況です。子供がいても街に住んでいるとか、富山市に住んでいて家に帰って来ない。まだ住める新しい家の空き家も有りますので、そういった空き家を活用して外から人を呼び込みたいとは思っていますが、なかなか難しいのが現状です。ですが、1人でも外から人を呼び入れて空き家に住んでいただけるような施策をすれば、人口減少と空き家の対策になると思います。本当にあと10年経ったら、30件あるうちの10件くらいしか残っていないのではないかという危機感を持っています。10年経ったら私も死んでもういないかもしれませんが、危機感を確かに持っていて、いろんな人たちに働きかけていますが、なかなか現実的には難しいという状況です。以上です。

**【議長】** ありがとうございます。

**【委員】** 職業柄ですけど、私は、町の子育て支援、保育サービスについては充実していると感じています。延長保育とか、一時あずかり、それから病児病後児、休日子育て支援室など、この人口2万の町に9か園の保育施設がありますが、それぞれ特徴を活かした保育をしていると思っています。毎月、所長たちが集まって保育の充実を図っています。毎日、保育所に来て新聞の出生欄を見ていますが、ここ最近、上市町で赤ちゃんが生まれていないなあって寂しく思っています。将来像の案3の基本目標キーワードに「住み続けたい、子育てしたい、働きたい」と書いてありますが、今後どうしていったら、どう目標が達成できたら町が良くなるのかということ、ここの全委員の意見をお聞かせいただきたいですし、安心できる町にしていけたらいいなと思ってこの会議に参加させていただいています。

**【議長】** ありがとうございます。委員の皆さんから色々と意見をいただきました。県の立場から施策や計画全体などで何かアドバイスがあればお願いします。

**【委員】** 施策の全体といったことであれば、今ほど各委員から大事な意見が出たかと思うのですが、先週、国の骨太の方針の原案が出まして、そこに書かれていた内容で全体的な施策に非常に影響してくると思ったのが、「アフターコロナの世界というのは非常にドラスティックな変化がある」ということです。そこで基本となるのが「分散」ですとか「遠隔」。今回、東京の一極集中は非常にリスクが高いということと、密接にならない生活、暮らし方といった新しい生活様式が提示されていますけども、それによって今後、地方に人や仕事、居住が流れてくるであろうということが書かれて有りました。言葉では「デジタル・トランスフォーメーション」という言葉が出ていまして、これは何かといいますと、簡単に言えば「デジタル革命」ということだそうです。これまでIoTですとかAIですとかビッグデータを活用した仕事の進め方というものと言われてきましたが、今後、それが一気に進む社会が出てくるということでした。それによって、日常の生活や会議の仕方、インターネットを使ったズームでの会議が多くなったり、あるいは働き方もテレワークになったりというような形が、今までも言われていましたけど進んでこなかった、それが一気に進んで「結構いいね」という評価がされてきたということで、これからそういった形にどんどん変わってくる。そういったことで、価値観までも変わってくるのではないかということが骨太の方針に書かれていました。そういったことが、こちらの基本施策の教育ですとか生活ですとか、産業、人を呼び込む施策が町には必要ではないかという意見も有りましたが、そういったところの根っこにデジタル革命の流れを上手く取

り込んだ施策というのが大事なのかなということを、先ほどからの委員皆様のご意見と骨太の方針に書いてあったことをつなぎ合わせながら考えていました。何かふわっとした意見になりましたけども、以上でございます。

**【議長】** ありがとうございます。県議会議員、最後に何か一言アドバイスお願いします。

**【参与】** 委員の皆さん、本当に熱い意見を交換していただきまして、私も皆さんの熱意に元気をいただいているような状況であります。今ほども話があったように「選ばれる」ということが重要になってくると思います。今後の10年間において今の話のように東京一極集中から地方分散という方向に向かうと思われま。その時に基礎自治体はすごい数があるので、東京にいる方々が地方に分散するときはどうやって行き場所を選択するのかということが重要になると思います。上市町の魅力を我々自身がまず認識して、それを磨き上げ武器にする。それを発信していくことで上市町に来る人が増えていくのだと考えます。そして、人が増えると新しい風が吹き、活性化していく。このことが今、全国の過疎自治体を回っていてひしひしと伝わってきます。新しい風で住民も活性化していくといういい流れだと非常に感じられる。そのために我々がしていくことで非常に大事なものは、魅力で引き付けるということだと思いますし、また、もう1つは活力といいますか活気といいますか、そこに向かう求心力というものが非常に大事であって、この総合計画は最終的には書いたものになるわけですが、これをシンボルとして、そこにどうやって魂を入れていくのが非常に大事なところになっていくと思います。過疎の先進地で行われていることを視察していますと、町内ごとの人口動向を出されています。我々、富山県の人口は80万人に減ってしまうと言われても「へー」って感じなんですね。上市町の人口が1万6千人まで減ってしまうと言われても「へー」って感じです。(数字で言われても)それはいったいどういうことなのかということ、身をもって感じられないということがあります。町内ごとの人口動態を見ますと、ただでさえ町内会を担う人がいないので、今役員の自分はあと何年役員しなければいけないのだろうか、会計をする人のなり手がいるのかというように町内会それぞれの課題というものが浮き彫りになってくる。町内の問題を目の当たりにして、その住民がお互いどのようにその課題に向き合っていかなければいけないのか考え始める。そのことがこの地域の活力に繋がっていているという事例が過疎の先進地で有りました。そういう我々の大事な町民の皆さんの熱意、心の中にある熱いものをどうやって引き出していか、そういった基礎になる熱を引き出すということが最も大事なポイントになっていくのではないかと思います。今後はそういう細かいところもこの中で議論されていくことになると思います。1つの例ということでお話させていただきました。今後、皆様方の意見がますます熱く燃え上がっていく、燃え盛っていくよう祈念いたしまして最後の感想とさせていただきます。どうもありがとうございました。

**【議長】** どうもありがとうございました。本日は議員の皆様にとくさんのご意見をいただきました。ありがとうございました。本日いただきました施策に関するご意見等につきましては、今後の基本構想の修正と、基本計画案の作成に反映していきたいと思っております。事務局の方々は大変でしょうけど、作業をよろしくお願いします。それでは予定の時間となりましたので、これで本日の審議を終了いたします。委員の皆様には円滑な議事進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。それでは、進行を事務局へ戻させていただきます。

#### 4 次回審議会議日程

**【事務局】** 会長、議事の進行ありがとうございました。委員の皆様には長時間に渡って、色々ご審議いただきありがとうございました。委員の中で本日出し切れなかった意見などお持ちでしたら、お配りした資料の「ご意見等連絡用紙」にご記入いただき、役場企画課までご提出してください。そして、次回の審議会では、本日いろいろご意見をいただいた「まちの将来像」を含めた修正後の基本構想をお示しいたします。また、今後作成する基本計画の案についてご審議いただく予定としておりますので、よろしく願いいたします。なお、次回の第3回審議会の日程につきましては、9月29日火曜日の午後2時から、本日と同じこの会場にて開催する予定ですので、日程を調整していただきご出席くださいますようお願いいたします。

#### 5 閉会

**【事務局】** それでは、これで第2回の総合計画・総合戦略の審議会を閉会といたします。本日は長時間に渡りご出席いただき、誠にありがとうございました。

(会議終了)